

平成28年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要  
女性の活躍

地域に根ざしたアグリビジネスを展開し、女性起業活動を牽引

○氏名又は名称 伊藤 恵子

○所在地 宮城県遠田郡美里町

○出品財 農産（水稲・大豆・麦）

○受賞理由

・地域の概要

宮城県遠田郡美里町は、仙台市から40kmの距離にあり、交通アクセスも良く定住者も多い。冬季は少雨で、降雪期間も比較的短く、町の約70%を水田や畑が占める。米、野菜、果樹、施設園芸を中心に農業が町の基幹産業となっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

伊藤氏は、就農後起業講座の受講を契機に積極的に事業を展開し、平成13年に農家レストラン「はなやか亭」を開業。平成22年に「(株)はなやか」を設立して代表取締役就任。町の農業委員、宮城県産業振興審議会委員、全国女性農業委員ネットワーク会長などを歴任し、女性起業家として先駆的役割を果たす。

・受賞者の特色

(1) アグリビジネスへの取り組み

「はなやか亭」を開業後、2号店を開店。その後、平成22年には農産加工施設を併設した「菜園レストラン野の風」を開店するなど積極的な事業を展開。平成25年には年商1億円を達成する。

(2) 役割分担に基づく法人経営の展開

家族経営協定により家族間の担当部門を明確化。平成18年には夫婦で共同申請の上、認定農業者となる。会社では、生産部門は夫と息子が担当、自社生産物の加工販売やレストラン部門は伊藤氏、妹、長男の妻が担当するなど部門分担を図りつつ事業を運営。

(3) 女性の地位向上のための活動

平成11年に町初めての女性農業委員に選出。平成14年に県内女性農業委員による「みやぎアグリレディース21」の結成に参画し、平成16年には代表に就任。平成21年には県指導農業士会副会長、平成26年には全国女性農業委員ネットワーク会長にも就任。男女共同参画の実現と農業・農村の発展に尽力している。

・普及性と今後の発展方向

人材・起業ネットワークを活かした事業展開や、農産物直売所を活用した地域農産物の生産振興、さらに、女性の経営参画と地域活性化に積極的に取り組む姿勢は広く全国の女性農業者にも共有されるべきものであり、男女共同参画社会の実現と地域活性化において先駆的役割を果たしている。